

麗しい水環境の創造へ



かいほう

2013
NEW YEAR

126

新年号

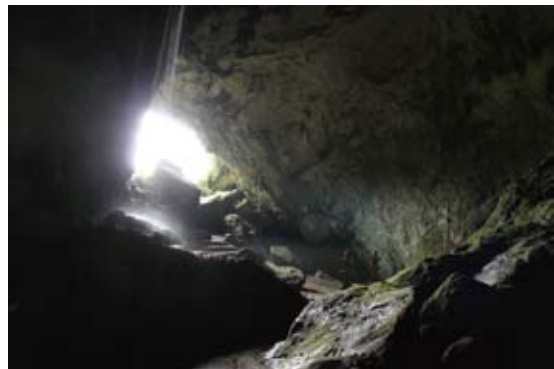
一般財団法人 福岡県浄化槽協会



「朝日に照らされている新北九州空港連絡橋」藤原哲明氏撮影



「苅田港の朝霧」藤原哲明氏撮影



「平尾台青龍窟」苅田町撮影



表紙の写真について（藤原哲明氏撮影）

表紙の写真は、京都府苅田町の松山城跡から撮影された苅田港から昇る日の出です。東は周防灘に面して、苅田港・北九州空港と広大な臨海工業地帯が広がっています。西はカルスト台地で知られる平尾台に連なり、鍾乳洞の青龍窟は昭和37年(1962年)、洞窟全体が国の天然記念物に指定されました。

INDEX

理事長あいさつ	1
知事年頭あいさつ	2

事業報告

検査事業

浄化槽の法定検査結果(上半期)	3
クロスチェック委員会の報告	4

浄化槽啓発

「浄化槽シンポジウム福岡2012」を開催	6
第一回 浄化槽ポスターコンクール 最優秀賞(福岡県知事賞)表彰	7
浄化槽普及啓発活動の実施	7
「チームで節電!エコ事業所コンテスト」で表彰	7
浄化槽普及啓発資料	8
浄化槽啓発カレンダーを作成しました	10
「浄化槽工事業者の登録事務等の手引き」を作成しました	11

講習・研修

指定採水員指定講習会(更新)の開催	12
指定採水員指定講習会(新規)開催のお知らせ	12

調査・研究

全国浄化槽技術研究集会	13
九州地区浄化槽検査員研修会に参加	14

環境活動

清掃活動の実施	14
---------------	----

表彰

「浄化槽の日」における表彰受賞者	15
計量関係功労者表彰	15

情報

官庁情報

平成25年度浄化槽関係予算の概算要求	16
--------------------------	----

試験・講習

平成24年度浄化槽関係試験・講習会日程表	18
平成25年度浄化槽関係試験・講習会日程表(予定)	18

お知らせ

平成24年度「浄化槽技術研修会」開催のご案内	19
------------------------------	----

その他

筑後検査センター増築工事の完了	20
行政による法定検査の立会	20
入退会事業所の紹介	21
「福岡県国際環境人材育成研修」に講師派遣	21
人事異動のお知らせ	22
浄化槽Q&A	22
法定検査の指摘事例	23
水質検査項目の紹介(No.4) BOD(生物化学的酸素要求量)	24
新聞記事の紹介	25
ふるさと百景	26
編集後記	26

理事長あいさつ

一般財団法人福岡県浄化槽協会
理事長 三浦 正吏



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。
皆様にはお変わりなく、ご精励のこととお喜び申し上げます。

昨年1年間の世相をあらわす漢字として「金^{きん}」が選ばれたそうです。ロンドンオリンピックでの日本人選手の活躍や、932年ぶりに日本の広範囲で観測された金環日食、山中伸弥京大教授のノーベル医学生理学賞受賞、東京スカイツリーの開業などが理由に挙げられています。

このような世相の中、協会も昨年4月から新しい組織のもとに一般財団法人としてスタートし、「浄化槽の普及啓発事業」や「浄化槽の法定検査事業」を中核として、これまで以上に公益的な事業を確実に推進して参ります。

新法人として求められている公益目的支出計画に基づく「浄化槽の普及啓発事業」では、昨年10月に、福岡県並びに福岡県浄化槽推進協議会との共催(全浄連九州支部並びに福岡県環境整備事業協同組合連合会後援)を得て、議会議員や行政職員、浄化槽関係者の方々を対象としたシンポジウム「それぞれの市町村にふさわしい生活排水処理計画の構築へ」を福岡市内で開催し、約230名の参加を頂きました。

このシンポジウムでは、東日本大震災での浄化槽の被災状況の調査結果や、みやま市の浄化槽市町村整備推進事業の紹介を通じ、今後急速に進む人口減少社会を見据えた排水処理施設がどうあるべきか、大規模災害の被災を想定した排水処理施設の選択枝としての「浄化槽の在り方」についてご提案を頂きました。

今後も継続して、浄化槽の普及啓発のため「浄化槽が持っている力」、「今の時代が浄化槽に期待するもの」を発信して参りたいと考えています。

「浄化槽の法定検査事業」では、効率化した11条検査「福岡方式」の根幹の仕組みである指定採水員制度を採用しており、昨年11月に県内6会場で採水員の指定を更新する講習会を開催し、約560名の方の参加を頂きました。

業務ご多忙の中、貴重な時間を頂きましたことに改めてお礼を申し上げますと共に引き続き法定検査の推進にご協力をお願いいたします。

また、昨年4月から取り組んでおりました筑後検査センターの増築工事も10月末に完了し、大型の自動分析装置の導入を想定した恒温室を設け、筑後地区の今後の法定検査の受検数増にも十分に対応できる体制を整えました。

役職員一同、引き続き、事業の推進を通じて協会の基本理念であります「麗しい水環境の創造へ」の実現を目指して参りますので、皆様からの、なお一層のご指導ご支援をお願い申し上げます。



知事年頭あいさつ

福岡県知事 小川 洋



あけましておめでとうございます。

一般財団法人福岡県浄化槽協会会員の皆さまには、日ごろから浄化槽の適正な維持管理の確保やその普及啓発を通じて、県民の健康で快適な生活環境の確保に格別のご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年は、ロンドンオリンピックやパラリンピックで、本県ゆかりの選手の皆さんが大いに活躍し、県民に元氣や感動を与えてくれました。

一方、7月の豪雨により、県内各地に甚大な被害が発生しました。被災された皆さまが一日も早く元の平穏な生活を取り戻せるよう、全力で取り組んでいるところです。

昨年春、「県民幸福度日本一」を目指し福岡県発展の道筋をつけるべく、「福岡県総合計画」「行政改革大綱」という2本のレールを敷きました。今年は、これをしっかりと前へと進め、環境と調和し、快適に暮らせることなど、目標として掲げた施策を『着実に実行していく年』にしたいと思います。

そのためには、化学物質による環境リスクの低減や良好な大気環境の確保とともに、流域の特性に応じた水環境などの保全と健全な水循環の確保が必要であり、これを支えるのが上下水道や浄化槽などの生活インフラです。

県では、快適な生活環境をつくるため、浄化槽を含めた污水处理施設の計画的で着実な整備を推進しています。

中でも、浄化槽は、設置に要する期間が短い、地形の影響を受けにくい、河川の流量を確保できる、災害に強いなど、他の污水处理施設にない特長があり、その普及が期待されています。このように拡大が進む浄化槽の処理機能が十分に発揮されるようにするためには、その適正な維持管理の徹底を図る必要があります。今後とも、適正な維持管理の確保に向けて関係の皆さまの一層の取り組みをお願いいたします。

今年は巳年です。蛇は、古くから金運、豊作などをもたらす縁起の良い生き物とされています。新しい年が県民の皆さまにとりまして、夢や希望が持てる素晴らしい一年となりますよう、心からお祈りいたします。

事業報告

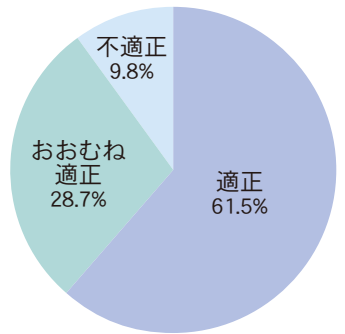
検査事業

浄化槽の法定検査結果(上半期)

平成24年度上半期(4月～9月)の法定検査の実施状況は次のとおりです

7条検査の実績

保健福祉 環境事務所等	検査基数	判 定		
		適 正	おおむね適正	不適正
筑 紫	90	48	30	12
宗像・遠賀	166	76	52	38
嘉穂・鞍手	481	292	146	43
北筑後	90	54	33	3
南筑後	594	423	145	26
京 築	295	149	101	45
福岡市	10	2	4	4
久留米市	207	145	44	18
合 計	1,933	1,189	555	189
割 合	—	61.5%	28.7%	9.8%



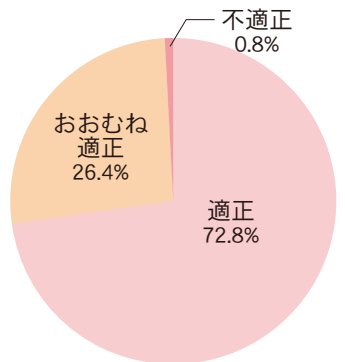
問題のあったチェック項目の上位5項目

チェック項目	指摘数	指摘の主な原因
保守点検回数	151	保守点検をしていない
処理水と消毒剤の接触状況	79	消毒薬が袋から取り出されていない
消毒剤の有無	53	消毒薬がなく、消毒されていない
消毒設置の固定状況	5	消毒薬筒が設置されていない
流入管渠及び放流管渠の設置	5	雨水排除管が流入管に接続されている

※ 指摘数は延べ基数。また、類似する項目を除く

11条検査の実績

保健福祉 環境事務所等	検査基数	判 定		
		適 正	おおむね適正	不適正
筑 紫	3,000	2,376	622	2
宗像・遠賀	3,952	2,935	988	29
嘉穂・鞍手	12,970	9,329	3,490	151
北筑後	4,167	3,088	1,051	28
南筑後	15,443	11,155	4,185	103
京 築	4,893	3,710	1,146	37
福岡市	75	56	14	5
久留米市	5,452	3,692	1,694	66
合 計	49,952	36,341	13,190	421
割 合	—	72.8%	26.4%	0.8%



問題のあったチェック項目の上位5項目

チェック項目	指摘数	指摘の主な原因
漏水の状況	85	浄化槽又は流入管渠からの漏水
消毒剤の有無	57	消毒薬がなく、消毒されていない
清掃回数	33	清掃回数が法令で定められた回数より少ない
増改築等の状況	30	建築用途が変更されている
接触剤、ろ材、担体等の固定	22	担体が流出している

※ 指摘数は延べ基数。また、類似する項目を除く

事業報告/検査事業 クロスチェック委員会の報告

平成24年10月25日(木)に平成24年度第2回定期検査クロスチェック委員会を開催しました。
なお、委員会においては、平成24年度年4月から7月までの11条検査の実施状況、スクリーニング検査の実施状況、フォロー検査の実施状況、現地調査の実施状況等についての審査が行われました。
審査にあたっての報告内容は、次のとおりです。

【平成24年度4月から7月の実施状況】

検査センター別の水質検査基数、スクリーニング検査基数、フォロー検査基数、現地調査基数は、以下のとおりです。

センター名	項 目	4月	5月	6月	7月	合計
福 岡	水質検査基数	1,330	1,267	1,259	1,220	5,076
	スクリーニング検査基数 ※1	80	75	48	47	250
	フォロー検査基数 ※2	2	1	1	4	8
	現地調査基数 ※3	0	2	0	1	3
筑 後	水質検査基数	2,583	2,525	2,685	2,363	10,156
	スクリーニング検査基数 ※1	238	220	175	120	753
	フォロー検査基数 ※2	3	4	4	7	18
	現地調査基数 ※3	3	1	1	0	5
筑 豊	水質検査基数	2,470	2,647	2,360	2,604	8,841
	スクリーニング検査基数 ※1	259	222	176	152	809
	フォロー検査基数 ※2	8	21	14	7	50
	現地調査基数 ※3	0	2	1	0	3
合 計	水質検査基数	6,383	6,439	6,304	6,187	25,313
	スクリーニング検査基数 ※1	577	517	399	319	1,812
	フォロー検査基数 ※2	13	26	19	18	76
	現地調査基数 ※3	3	5	2	1	11

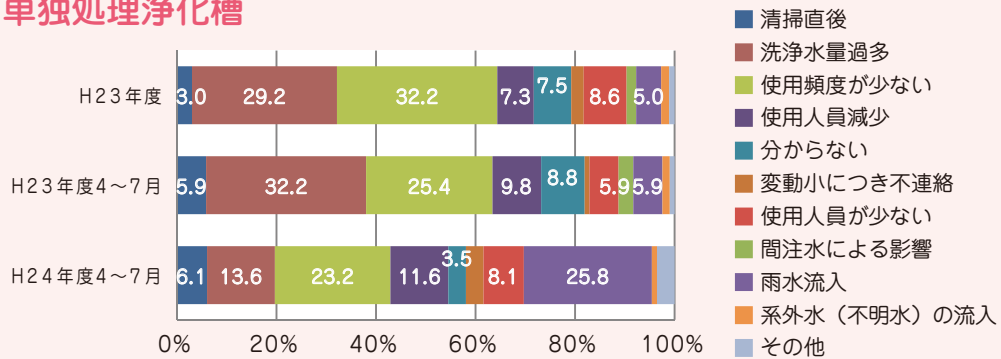
- ※1 スクリーニング検査とは、BODが一定基準を超過した場合などに浄化槽検査員が行う検査です。
※2 フォロー検査とは、前年度外観検査で「不適正」と判定された浄化槽について、「不適正」な箇所の改善状況の確認を浄化槽検査員が行う検査です。
※3 現地調査とは、塩化物イオン濃度が一定基準を下回った場合などに行う調査です。

【聞き取り調査結果】

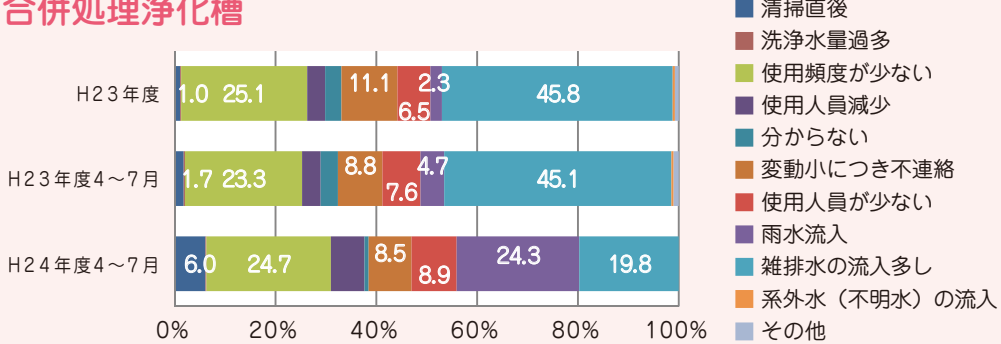
採水された試料の塩化物イオン濃度の結果から、一定基準以下のものについては、指定採水員の方に対し、その要因について聞き取り調査を行っています。平成24年度年4月から7月の調査結果は、以下のとおりです。
今回は、九州北部豪雨等の影響により、「雨水流入」という回答が増えています。

聞き取り調査結果(4月～7月)

単独処理浄化槽



合併処理浄化槽



クロスチェック委員会の様子

事業報告/浄化槽啓発 「浄化槽シンポジウム福岡2012」を開催

～それぞれの市町村にふさわしい生活排水処理計画の構築へ～

当協会は、10月26日(金)に福岡県と福岡県浄化槽推進協議会の共催及び全浄連九州支部と福岡県環境整備事業協同組合連合会の後援のもと、福岡市の博多サンヒルズホテルで「浄化槽シンポジウム福岡2012」を開催しました。

県・市町村議員の他、県・市町村職員、会員等合わせて約230名の参加を頂きました。

本シンポジウムは、県民の環境意識の向上、少子高齢化等の社会状況の変化の中で、それぞれの市町村にふさわしい生活排水処理計画を構築するための一助とすべく、議会、行政及び浄化槽関係者等を対象に開催したものです。

今後の生活排水処理計画を構築する議会や行政が興味を持っている内容であったことから、市町村長や議員の参加が多くみられ、大変好評でありました。

更なる浄化槽の普及啓発に向け、来年度もシンポジウムを開催する予定です。

第1部 「浄化槽行政について」 環境省浄化槽推進室室長補佐 市原 陽一郎氏

第2部 「これからの生活排水処理のあり方(東日本大震災から学んだもの)」
(社)全国浄化槽団体連合会専任企画技術幹事 中川 良男氏

第3部 「みやま市における浄化槽市町村整備推進事業について」
みやま市上下水道課浄化槽係長 内野 逸雄氏



福岡県環境部長あいさつ



環境省 市原氏



全浄連 中川氏



みやま市 内野氏

事業報告/浄化槽啓発 第一回 浄化槽ポスターコンクール 最優秀賞(福岡県知事賞)表彰

今年度に行いました第一回浄化槽ポスターコンクールにおいて、みごと最優秀賞(福岡県知事賞)に輝きました柳川市立昭代第一小学校4年生の乗富勝稀さんに、表彰状を手渡しました。

最優秀賞(福岡県知事賞)受賞、おめでとうございます。



事業報告/浄化槽啓発 浄化槽普及啓発活動の実施

11月10日(土)、11日(日)の2日間、福岡市天神のアクロス福岡で開催された「フクオカ サイエンスマンス2012」に当協会も昨年に引き続き5回目の参加をしました。

宇宙誕生メダカや浄化槽模型の展示、顕微鏡による浄化槽微生物の観察やパソコンによる浄化槽クイズなどを出展し、浄化槽の普及啓発を行いました。

この他にも、各自治体の開催する環境関連のイベントにも参加し、浄化槽の良さを大いにPRしました。



フクオカ サイエンスマンス 2012



柳川リサイクルマーケット

その他のイベント参加状況

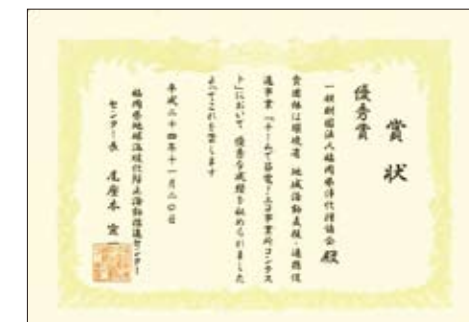
開催日	名 称	開催場所
9月22日(土)	桂川町ひまわりフェスタ	桂川町
9月23日(日)	柳川市リサイクルマーケット	柳川市
10月28日(日)	豊前市カラス天狗祭り	豊前市
	環境フェスタinちくご	筑後市
11月4日(日)	嘉麻ふれあい祭り	嘉麻市

事業報告/浄化槽啓発 「チームで節電!エコ事業所コンテスト」で表彰

平成24年11月20日(火)、環境省の地域活動支援・連携推進事業である標記コンテストにおいて、福岡県地球温暖化防止活動推進センターから当協会福岡検査センターが優秀賞を受賞しました。

また、筑後検査センターについては、昨年の「エコ事業所最優秀県知事表彰」に引き続き、奨励賞を受賞しました。

当協会では、今後も一丸となって、エコ活動に取り組んでいきます。



当協会では、浄化槽の普及啓発に関する資料、環境フェア等で使用する各種機材を取り揃えておりますので、是非ご活用下さい。詳しくは、協会事務局の情報管理・企画課(Tel.092-947-1800)までご連絡下さい。

1 普及啓発資料



「すごくフツーの町だけどキレイな川がジマンです」

A4 版パンフレット 4 ページ

女子高生が「短大の推薦」と「水洗トイレ」を町長に直訴するなどユニークな内容となっています。また、浄化槽設置に係る国の財政支援なども掲載しています。

※ 環境省及び漫画家の赤星たみ子氏から許可を得て転載しています。

「わが町の環境支える浄化槽」



A3 版 パンフレット

水の汚れる原因や浄化槽のしくみを分かりやすく解説しています。浄化槽設置者・未設置者問わない内容となっています。

「浄化槽は生き物です」



A4 版 パンフレット

浄化槽の正しい使い方や、保守点検業者及び清掃業者との委託契約を促す内容となっています。

「「じょうかそう」のおはなし」



A4 版パンフレット
8 ページ
小学校低学年用

水環境を守る意識の向上と併せて浄化槽が水質保全に果たす役割について、小学生にも分かりやすく解説した内容となっています。※(社)全国浄化槽団体連合会の「平成20年度水環境保全助成事業」にて作成しています。

「水が生き返るために」



A4 版パンフレット
8 ページ
小学校高学年用

従来から配付しているエコグッズ

「エコバック」



A4版収納サイズ
(ワイド)
カラー
ピンク
ブルー
グリーン
イエロー

環境フェア等のイベントにおいて、浄化槽クイズに参加した方の中から抽選で差し上げています。

2 環境フェア等で使用する各種機材等

「浄化槽ミニ模型」



サイズ：780mm×625mm×472mm

環境フェア等で展示いただけます。水を入れてブローを使用することで水の流れを見ることが出来ます。

宇宙誕生メダカ



1994 年に向井千秋さんとスペースシャトルコロンビア号で宇宙旅行したメダカの子孫「23 世」です。無重力や宇宙線が繁殖に影響しないかどうかの実験で、スペースシャトル内で産卵したメダカの子孫です。

顕微鏡



写真の顕微鏡は「微分干渉顕微鏡」といって、生きた微生物を鮮明に観察することができる優れた顕微鏡です。テレビ画面と同様のモニターも付いており、顕微鏡を覗かなくてもモニターで微生物の観察ができるものです。

パソコンによる浄化槽クイズ



小学生向けに作成したパンフレットやカレンダーに登場する当協会のオリジナルキャラクターを使った浄化槽クイズです。

その他、以下のような事業も実施しておりますので、各自治体、事業所、学校、子供会等の各団体、グループ等では是非ご活用下さい。

平日、休日を問わず、また費用負担もありませんので、お気軽にお問い合わせ下さい。

○ 市町村における生活排水処理計画等の支援

各市町村の実情に応じた各種生活排水処理施設の整備を効率的に推進するため、生活排水処理基本計画、浄化槽市町村整備推進事業導入等の策定をお手伝いします。

○ 出前講座

浄化槽の普及啓発を目的に職員が出向き、浄化槽に関するお話を、専門知識を活かしてお届けするものです。講座内容につきましては、ご相談頂ければ対応します。

○ 環境フェア等への出展

各自治体が開催する環境フェア、産業まつり等へ出向き、浄化槽を紹介するものです。展示物として、宇宙誕生メダカ、ヒナモロコ、顕微鏡による微生物観察、パソコンによる浄化槽クイズ等を取り揃えております。

事業報告/浄化槽啓発

浄化槽啓発カレンダーを作成しました

福岡県の後援を頂き今年度から実施しました「平成24年度の浄化槽ポスターコンクール」の入賞作品を活用して「浄化槽啓発カレンダー」を作成しました。

次世代の子供達へ美しい水環境を残すため、家庭から出る汚れた水をキレイにする浄化槽と水辺の環境をテーマにポスターを募集したもので、今後の浄化槽の普及啓発に活用させていただきます。



事業報告/浄化槽啓発

「浄化槽工事業者の登録事務等の手引き」を作成しました

浄化槽工事業を営もうとする場合は、当該区域を管轄する都道府県知事に登録あるいは届出の手続きが必要となります。

今回作成しました手引きは、登録等の手続きについて福岡県建築都市部建築指導課の監修を頂き、簡単にまとめたものです。

ご希望の方は、ご連絡頂ければお送りします。また、当協会のホームページからも入手出来ます。

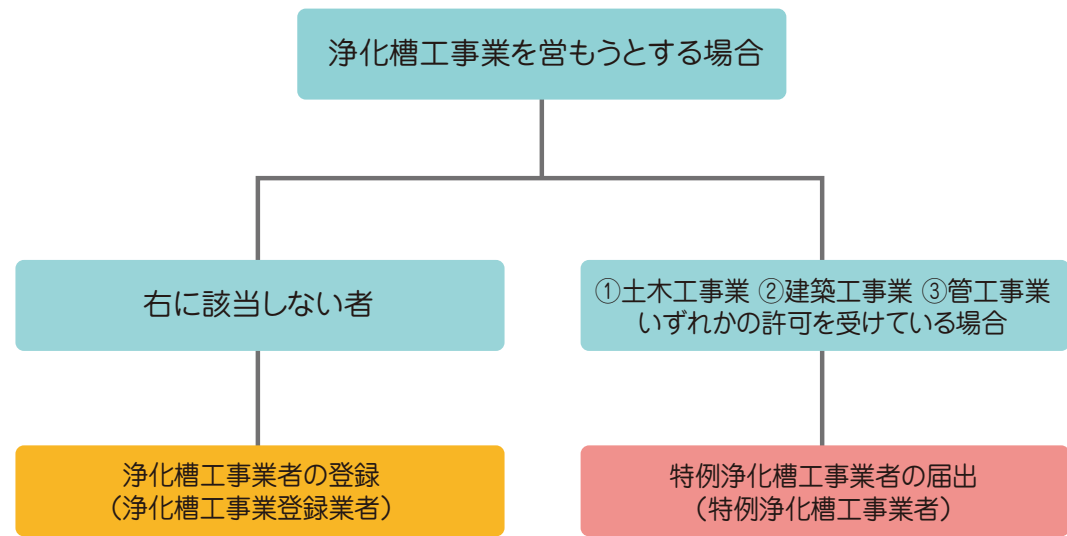
浄化槽工事・浄化槽工事業者とは

浄化槽の設置工事、又はその構造や規模の変更をする工事のことを浄化槽工事といい、この浄化槽工事業を営む者を浄化槽工事業者といいます。

浄化槽工事業登録業者及び特例浄化槽工事業者とは

浄化槽工事業を営もうとする場合は、工事を行おうとする区域を管轄する都道府県知事の登録を受けなければなりません。この登録された浄化槽工事業者を「浄化槽工事業登録業者」といいます。

なお、建設業法に基づき、①土木工事業、②建築工事業、③管工事業のいずれかの許可を受けている建設業者については、改めて登録の必要はなく、届出のみで良いこととされており、このような浄化槽工事業者を「特例浄化槽工事業者」といいます。



事業報告/講習・研修

指定採水員指定講習会(更新)の開催

平成24年11月に、県内5カ所6会場において、指定採水員の指定を受けられている方を対象に更新講習会を開催しました。

講習会を受講された方々は、「福岡方式」の信頼性確保のため、今後も指定採水員としての自覚と責任を持って、検査試料の採水をされるようお願いいたします。

なお、受講された皆様の採水員指定書及び指定採水員証明書は、12月中に各事業所宛に送付しています。届いていない方は、当協会(担当:栗田)までご連絡ください。

地区	開催日	開催場所	受講者数(名)
福岡	11月1日	クリエイト篠栗	82
	11月9日	クリエイト篠栗	71
筑後	11月20日	柳川市民会館	95
	11月30日	久留米市職業訓練センター	121
筑豊	11月16日	田川市民会館(中央公民館)	114
	11月22日	飯塚市中央公民館	81
合計			564

(受講者数には行政職員も含む)



会場の様子

事業報告/講習・研修

指定採水員指定講習会(新規)開催のお知らせ

新規に指定採水員になられる方を対象に、指定採水員指定講習会を平成25年2月6日(水)にクリエイト篠栗で開催します。

受講希望の方は、事業所宛に案内を差し上げておりますので、確認のうえ、受講下さいませよう宜しくお願いいたします。

事業報告/調査・研究

全国浄化槽技術研究集会

10月17日・18日の2日間、岩手県盛岡市において、(公財)日本環境整備教育センター主催の第26回全国浄化槽技術研究集会が開催されました。

毎年、浄化槽の最新技術に関する研究発表や事例報告が盛大になされており、今年も当協会から2名の職員が発表しました。

なお、発表内容の概要は、以下のとおりです。

演題 「7条検査の適期実施のための管理システム」

発表者 筑後検査センター法定検査課副課長 野上 裕文

内容 当協会では、7条検査の適期(使用開始後3月を経過した日から5月の間)実施を行うため、浄化槽の設置を予定している浄化槽管理者に対して、ダイレクトメールを送付し、返信ハガキにおいて使用開始日の確認を行っている。

この情報等を基に7条検査を適期実施する方法としてシステムを構築したことから、その概要について発表しました。



発表のようす

演題 「浄化槽検査員の精度管理について」

発表者 筑豊検査センター法定検査課主任技師 櫻木 秀憲

内容 浄化槽の検査における外観検査の判断は、検査員の主観に頼るところが大きく、検査員の経験や知識等により、判断結果に偏りやばらつきが生じるという問題を抱えている。

そこで、当協会では法定検査における一定水準以上の精度を確保するため、精度管理に関する取組を行っており、その成果について発表しました。



発表のようす

事業報告/調査・研究 九州地区浄化槽検査員研修会に参加

11月28日(水)に、九州地区浄化槽指定検査機関協議会主催による「九州地区浄化槽検査員研修会」が宮崎市で開催され、当協会からは12名が参加しました。

研修会では、各県の内部精度管理や浄化槽技術に関する研究発表(6事例)と特別講演が以下のとおり行われ、当協会は、「不適正浄化槽の改善への取組について」と題して発表を行いました。

また、各県の状況や取組について情報交換も行われました。

なお、本年は四国地区指定検査機関協議会からの参加もあり、他ブロックとの交流も始まりました。



【カリキュラム】

発表内容	発表団体
「気温上昇時のBOD検体の運搬について」	(財)佐賀県環境科学検査協会
「環境学習実施へのプロセス」	(公財)大分県環境管理協会
「不適正浄化槽の改善への取組について」	(一財)福岡県浄化槽協会
「11条検査の受検向上のための継続的取組について」	(公社)熊本県浄化槽協会
「水質改善への取組」	(公財)鹿児島県環境検査センター
「採水員制度と浄化槽適正管理強化事業について」	(公財)宮崎県環境科学協会
「特別講演」リスクアセスメントと労働災害について	高倉労働衛生コンサルタント事務所

事業報告/環境活動 清掃活動の実施

当協会では、10月1日の「浄化槽の日」の関連活動として、各検査センターにおいて清掃活動を実施しました。6月の環境月間に引き続き、検査センター周辺の道路脇や河川周辺に捨ててある空き缶、煙草の吸い殻などを拾いました。

今後も、協会は環境活動を推進します。



表彰

「浄化槽の日」における表彰受賞者

10月1日(月)に東京會館(東京都内)で開催された第26回全国浄化槽大会において、当協会の評議員、理事並びに会員の方々が環境大臣表彰、環境大臣官房廃棄物・リサイクル対策部長表彰を受賞されました。心からお慶び申し上げますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。

【環境大臣表彰】



川口 敬介 氏
ケイ・エスクラフト工業(株)



永野 孝明 氏
(有)環境整備センター



石井 光 氏
(有)清光社



本多 繁利 氏
(有)西日本設備工業

表彰 計量関係功労者表彰

計量記念日(毎年11月1日)事業の一環として、本年11月9日に開催された平成24年度計量記念日式典において計量関係功労者等の表彰が行われ、当協会から2名の職員が受賞しました。

この表彰は一般社団法人福岡県計量協会及び一般社団法人福岡県環境計量証明事業協会の会員団体に属する事業者が対象で、計量の発展に寄与された方々に贈られるものです。

◆ 福岡県知事感謝状 ◆



秋吉 重信
筑豊検査センター 水質検査課長

◆ 福岡県環境計量証明事業協会会長表彰 ◆



田中 英男
筑豊検査センター 水質検査課主任技師

事業報告

検査事業

浄化槽啓発

講習・研修

調査・研究

環境活動

表彰

情報

官庁情報

試験・講習

お知らせ

その他

情報

官庁情報

平成25年度浄化槽関係予算の概算要求

環境省は、平成25年度の浄化槽推進関係予算の概算要求を発表しました。

循環型社会形成推進交付金は、84億円で内閣府（沖縄）、国土交通省（北海道、離島）を含めると90億円計上されています。

また、新規事業として「単独処理浄化槽合併転換促進支援事業の創設」、見直しとして「低炭素社会対応型浄化槽整備推進事業の延長」などがあげられています。

1 健全な水環境に資する浄化槽の整備促進

污水处理施設の効率的・効果的な整備を図るとともに、循環型社会の形成を推進するため、健全な水環境に資する浄化槽整備の一層の促進に必要な予算を計上。

○ 循環型社会形成推進交付金 8,421百万円

・市町村の自主性と創意工夫を生かしながら浄化槽の整備を推進するための予算。

浄化槽整備事業の内訳		【単位：百万円】	
循環型社会形成推進 交付金	平成24年度予算額	平成25年度予算額	対前年度比%
	(8,990) 8,421	(8,997) 8,421	(100.1) 100.0

※ 別途、東日本大震災復興交付金として復興庁に一括計上。
また、指定都市分について地域自主戦略交付金として内閣府に一括計上。
注：上段（ ）は、内閣府（沖縄）、国土交通省（北海道、離島）計上分を含めた額

※上記の他、内閣府に地域再生基盤強化交付金（污水处理施設整備交付金）を計上
総額585億円9千万円の内数

・地域再生計画に基づいて、環境省、農林水産省、国土交通省所管の污水处理施設の整備を効率的に行うための、事業間での融通や年度間での事業量の変更が可能な予算。

2 国の支援措置の充実・強化のための助成制度の見直し

○ 単独処理浄化槽合併転換促進支援事業の創設

単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ転換する場合に限り、従来の国庫補助制度に、配管費の一部助成のメニューを追加し、合併処理浄化槽への転換を促進することにより、污水处理施設の早期整備を推進する。

○ 低炭素社会対応型浄化槽整備推進事業の延長

22年度から24年度にかけて実施してきた低炭素社会型対応浄化槽整備推進事業について、日本における温室効果ガスの削減目標達成のための浄化槽分野におけるCO2削減対策の促進を図るため、制度を延長する。

○ 複数戸整備浄化槽の助成要件の緩和

浄化槽の効率的な運用を図り各戸での費用負担の軽減による設置・転換を進めるため、隣接する複数戸での浄化槽整備につき、現地形等の特殊状況による場合のみ認めているが、10戸未満を処理対象とする場合で浄化槽の処理能力に応じて適切な使用が行われると認められる場合も、複数戸に1基の整備を助成対象とする。

3 浄化槽整備等のための支援強化

○ 浄化槽整備事業計画支援事業費 10百万円

我が国の污水处理施設の未普及人口の解消を図るため、市町村による浄化槽整備事業計画の策定支援を行うとともに、国土交通省、農林水産省とも連携し、生活排水処理施設整備計画及び都道府県構想の策定支援を図る。

○ 浄化槽の有効利用・技術開発調査検討費 9百万円

施工性や維持管理のしやすさ及び有効利用を考慮した、災害時に導入が容易となる浄化槽システムに関する技術的検討を行う。また、地震・津波等の災害に耐える浄化槽の技術的問題や新技術の導入可能性について、技術的観点から調査を行う。

○ し尿処理システム国際普及推進事業費 14百万円

国連ミレニアム開発目標に掲げられた国際的な衛生問題の解決のため、国際ネットワークを活用し我が国の分散型処理システムの海外への導入具体化に向けて調査を行う。
また、し尿処理に関する現地調査及び技術移転の方向性に関する検討を行い、我が国のし尿処理技術の普及に向けた一層の取組を展開する。

4 その他

〈東日本大震災復興交付金として復興庁計上〉

○ 低炭素社会対応型浄化槽等集中導入事業

東日本大震災により被害のあった地域における、低炭素社会対応型浄化槽（市町村設置型・個人設置型）及び通常浄化槽（個人設置型）の迅速な整備について財政支援を行い、被災地の生活排水対策の早期回復を図る。

〈地域自主戦略交付金として内閣府（地域主権戦略室）計上〉

○ 循環型社会形成推進に関する事業

地域自主戦略交付金とは、内閣府が一括計上し、各府省の所管にとらわれず、地方自治体が自主的に選択したインフラ整備事業に対し交付金を交付するもの。
浄化槽については、政令指定都市を対象にその整備について財政支援を行う。

事業報告

検査事業

浄化槽啓発

講習・研修

調査・研究

環境活動

表彰

情報

官庁情報

試験・講習

お知らせ

その他

情報/試験・講習

平成24年度浄化槽関係試験・講習会日程表

浄化槽管理士講習の日程は、以下のとおりとなっております。

講習名	料 金	実施期間	受付期間	会 場	申請書販売料金
浄化槽 管理士講習	129,700円 ※1	平成25年2月25日(月) ～3月9日(土)	平成25年 1月18日(金) ～25日(金)	サンマリン福岡 福岡市東区箱崎 4-36-18 TEL:(092)641-5060	申請書代金1部 300円 現金書留及び 郵便小為替にて (申請書+送料) 1部: 440円 2部: 800円 3部: 1,140円

※1 浄化槽設備士資格をお持ちの方で受講一部免除を選択する方は、120,200円

■ 申請書の申し込み先

申請書送付先 (お問い合わせ先)	一般財団法人 福岡県浄化槽協会 〒811-2412 福岡県糟屋郡篠栗町大字乙犬966-2 TEL(092)947-1800 FAX(092)947-3636
---------------------	---

情報/試験・講習

平成25年度浄化槽関係試験・講習会日程表(予定)

次年度の試験・講習会は、以下の日程で実施される予定です。
なお、未定となっている期間および会場等については、おってお知らせ致します。

試験・講習名	料 金	実施期間	会 場
浄化槽設備士 国家試験	22,500円	7月7日(日)	九州ビル 福岡市博多区博多駅南1-8-31 TEL:(092)461-1112
浄化槽管理士 国家試験	20,200円	10月下旬頃	未 定
浄化槽 管理士講習	129,700円 ※1	6月10日(月)～6月22日(土)	南近代ビル 福岡市博多区博多駅南4-2-10 TEL:(092)431-4343
		9月24日(火)～10月6日(日)	
		平成26年 2月17日(月)～3月1日(土)	
浄化槽 設備士講習	86,700円 ※2	未 定	未 定
浄化槽 技術管理者講習会	49,000円	未 定	未 定

※1 浄化槽設備士資格をお持ちの方で受講一部免除を選択する方は、120,200円

※2 浄化槽管理士資格をお持ちの方で受講一部免除を選択する方は、81,700円

情報/お知らせ

平成24年度「浄化槽技術研修会」開催のご案内

この研修会は、浄化槽の維持管理技術の向上を目的として、浄化槽関係者に最新情報を提供するため開催するものです。

昨年に引き続き第2回目となる今回も、公益財団法人日本環境整備教育センターから講師を招き、以下のとおり開催します。

つきましては、多数の参加をお待ちしております。

参加の申し込み等については、別途、ご案内いたします。

日 時 平成25年3月7日(木) 13時から16時(受付12時から)

場 所 久留米ビジネスプラザ 久留米市宮ノ陣4-29-11 TEL 0942-31-3104

研修内容 「新型浄化槽のトラブル対応策」(仮題)

公益財団法人 日本環境整備教育センター
仁木 圭三氏
(調査研究部調査研究グループサブリーダー兼調査研究第一チームリーダー)

参加料等 無 料

お問い合わせ先 一般財団法人 福岡県浄化槽協会 情報管理・企画課
TEL(092)947-1800



(平成23年度開催の様子)

講師/日本環境整備教育センター 加藤 氏



会場/飯塚市 イイヅカコスモスコモン

その他

筑後検査センター増築工事の完了

平成24年5月11日に起工式を行い建築が進められてきました筑後検査センターの増築工事が、10月23日に竣工しました。

筑後検査センターは、平成17年11月15日に久留米市荒木町から久留米市宮ノ陣に移転建設しましたが、検査件数の増加に伴い検査室が手狭となっていたことから、増築工事を行ったものです。

なお、2階には新たに大会議室を設け、会員事業所の方にもご利用いただけるようにしていますので、ご利用の際は、事務局総務課までご連絡ください。



筑後検査センター増築前(外観)



筑後検査センター増築後(外観)



1階検査室(増築箇所)



2階大会議室(増築箇所)

その他

行政による法定検査の立会

例年実施しております、各保健福祉環境事務所の浄化槽担当者による法定検査の現地立会が、10月25日～11月16日に行われました。

この立会は、今年で7年目となり、毎年1回、各保健福祉環境事務所の管轄区域において、浄化槽の設置状況や法定検査の実施について、当協会職員が説明する形式で実施しており、行政職員の方と協会職員の良い情報交換の場となっています。



その他

入退会事業所の紹介

次の事業所が入会されました。

(敬称略)

所属部会	事業所名	代表者名	住 所	TEL・FAX
工 事	大喜商会	津田 喜道	久留米市本山1丁目17-39	TEL.0942-21-1205 FAX.0942-21-9597
工 事	(有)エース工業	相田 祐二	久留米市安武町安武本2729-7	TEL.0942-26-0221 FAX.0942-27-0775

次の事業所が退会されました。

(敬称略)

所属部会	事業所名	代表者名	住 所	TEL・FAX
工 事	蔵森環境設備土木	蔵森 重光	大川市大橋16-2	TEL.0944-87-4778 FAX.0944-87-4778
工 事	ヒノマル㈱福岡支店	今福 規代志	福岡市博多区大博町1-2	TEL.092-281-6804 FAX.092-262-4551

その他

「福岡県国際環境人材研修」に講師派遣

福岡県では、環境分野におけるアジア諸地域間のネットワークの構築を図ることを目的として、アジア諸地域で環境対策に携わる中核行政官を対象とした「福岡県国際環境人材研修」を実施しています。

10月15日に開催された本研修の「中国・水環境管理コース」において当協会から講師を派遣し、中国江蘇省南通市及び蘇州市の行政官2名に対し、浄化槽に関する講義を行いました。

日 時	10月15日(月)
研修会名等	国際環境人材育成研修(中国・水環境管理コース)
講義内容	「浄化槽について」
研修会場	一般財団法人 日本環境衛生センター (大野城市白木原3-5-11)



国際人材育成研修

人事異動のお知らせ

平成24年10月1日付けで人事異動を行いました。

事務局



法定検査課(新規採用職員)
下川 竜毅

筑後検査センター



水質検査課
福岡 敏雄

筑豊検査センター



水質検査課
田中 英男



法定検査課
萩原 広大

浄化槽Q&A

Q

下水道に接続され不要となった浄化槽を有効活用する方法はありませんか

A

雨水貯留槽への転用はいかがでしょうか

浄化槽設置地域に新たに下水道が敷設されると、使用されていた浄化槽のほとんどは、廃棄処分されています。そこで、雨水を有効利用するために、浄化槽を雨水貯留槽に転用している事例があります。

【雨水貯留槽への転用工事例】

- ① 浄化槽への汚水が流入しないように、配管の切り替えを行う。
- ② 汚水を全量引き抜き、槽内の洗浄を行う。(洗浄水も引き抜きます)
- ③ 浄化槽内の消毒を行う。
- ④ 可能な限り槽内の部品を撤去する。
- ⑤ 雨水を引き込む工事を行う。
- ⑥ 雨水くみ上げ用のポンプや水栓を設置する。

【工事上注意すべき点】

- ① 雨水を便器洗浄水に使用する場合、衛生面から手洗い付きタンクを設置しない。
- ② 温水洗浄便座に接続しない。
- ③ 槽内が長時間空になることも予想されるので、工業者に強度面の配慮をお願いする。などが挙げられます。

＜(公財)日本環境整備教育センター発行 月間浄化槽(2010年11月号) 引用＞

法定検査の指摘事例

法定検査において「不適正」と判定した事例を紹介します。

状況

浄化槽流入口付近の内壁に亀裂が発生していました。



不適正の理由

亀裂箇所から地下水等が流入したり、水位目安線より底部に亀裂がある場合、汚水が地下に浸透し公衆衛生上特に問題があることから、「浄化槽法定検査判定ガイドライン」では、判定は「不適正」となります。

改善方法

浄化槽の亀裂は、地盤沈下や隆起・地下水圧や土圧、地震等により発生します。原因を究明し、亀裂箇所をFRP(繊維強化プラスチック)等で補修する必要があります。

その他

水質検査項目紹介 (No.4) BOD (生物化学的酸素要求量)

BOD (生物化学的酸素要求量)とは、水の汚れの度をあらわす指標の一つで、水の中の酸素を使って汚れを分解する微生物が、どのくらい酸素を使ったかを調べるものです。

20℃の恒温室に5日間置いて、水の中に溶けている酸素の減った量で表します。汚れている水ほど微生物は酸素を必要とするため、BODの値は高くなります。

有機物が河川に流入すると、水中の好気性微生物によって分解され、この微生物の活動によって、水中の酸素が消費されます。有機物の量が多すぎると、水中の酸素が足りなくなり、やがて嫌気状態(空気がない状態)となって腐敗が起こり、河川は不快な状態となります。

一般的に、魚が快適に生息できるのはBOD5mg/L以下と言われています。例えば米のとぎ汁2ℓのBODは3,000mg/L、牛乳200mlの場合は78,000mg/Lになります。

汚れた水を魚が生息できる水質にするには希釈が必要になり、先の米のとぎ汁なら1,200ℓ、牛乳なら3,000ℓの水が必要という計算になります。

また、浄化槽法定検査判定ガイドライン(環境省)での水質判断基準は以下のとおりとなっています。

種 類		汚れの値(BOD)
	米のとぎ汁 鍋1杯分 2ℓ	3,000mg/L
	味噌汁 1杯分 200ml	35,000mg/L
	ラーメンの汁 1杯分 200ml	25,000mg/L
	醤油 スプーン1杯 10ml	150,000mg/L
	牛 乳 1本 200ml	78,000mg/L

検査項目	区 分	処理目標水質	良	可	不可
BOD	単独	90mg/L 以下	90mg/L 以下	90mg/L 超 120mg/L 以下	120mg/L 超
		60mg/L 以下	60mg/L 以下	60mg/L 超 80mg/L 以下	80mg/L 超
	合併	30mg/L 以下	30mg/L 以下	30mg/L 超 40mg/L 以下	40mg/L 超
		20mg/L 以下	20mg/L 以下	20mg/L 超 30mg/L 以下	30mg/L 超

※ 当協会では、以下の装置等を活用してBOD検査を行っています。



全自動希釈装置



土日対応自動BOD測定装置

その他

新聞記事の紹介

平成24年10月19日(金)の読売新聞に浄化槽に関する記事の掲載がありましたので、紹介します。

会計検査院が15日、国土交通省に改善を求めた下水道事業。全国18都道府県の89の終末処理場で、動いていない設備などの無駄がわかった。処理する汚水量の過大見込みが、背景にある。「パブル経済崩壊後、地方に金を回す公共事業として下水道が使われた。事業費が大きく、予算が確保されている下水道建設の既定方針を変えるのは難しい」と、日本環境整備教育センターの国安克彦調査研究グループ一見直しを進めている。

会計検査院の指摘が、見直しの難しさを印象つけた下水道普及路線。人口減、循環型社会作り、環境保全、津波対策に対応し、従来の計画の変更を急ぐべきだ。

人口減社会 浄化槽活用を

下水道計画の見直し 長崎県の場合
(国交省と長崎県の資料から)

下水道建設から浄化槽整備へ切り替えた主な理由(計143地区)

必要な初期投資を自治体が負担できない	すでに浄化槽の設置が進んでいる
安い	お年寄りが多い

下水道の使用開始後、各家庭は排水設備を下水道管につなげなければならぬ。しかし、会計検査院の調査では、「接続率」の低さが目立った。45か所の終末処理場は、下水道供用開始後11年以内に区域内の全家庭が「接続」を行うと見えていたが、これが実現した処理場はなかった。例えば、北海道富良野市の富良野水処理センターは、運転開始した22年前、3年以内に区域内の全世帯が接続すると

予想したが、昨年度末でやっと95%となっている。国交省下水道事業課は伸び悩む接続率について、「トイレの改装、敷地内の管の敷設、受益者負担金と金がかかるため、『子供たちは出て行き、この家に住むのは自分たちが最後なので、このままでいい』という住民も多い。市や町の職員が一軒一軒回って、『下水道管につないでください』とお願しているのが現状」と説明する。「延長すれば何軒がつないでくれるのか、費用対効果を考えない」と。市街地では1軒のため下水道管を10m延ばせば良かったが、農村部では200〜300m延ばさなくてはならない(兵庫県加古川市)。市町村は頭を抱える。

国交省が今年になって計31県の下水道計画の見直し

状況をまとめたところ、下水道など集合処理施設を作るのをやめ、浄化槽の設置を進める傾向が目立った。浄化槽は合併浄化槽とも呼ばれ、トイレのほか、台所、風呂の排水も一緒に処理できる。設置は個人負担だが、1987年度から政府の補助金がつき、上乗せ補助を出して普及を進める自治体も増えた。きれいに、川の水の流れが減らず、「循環型で環境にやさしい」と政府は後押ししてきた。ただ、環境省の調査で、法で義務づけられた毎年の検査を受けていないケースが半数以上あり、維持管理の適正化が課題だ。

下水道整備に伴い、全国の自治体が償還しなければならぬ負債は約2兆8000億円にのぼる。過疎地域は急拡大している。地域によっては、下水道から浄化槽設置へと計画の切り替えを急ぐべきだ。

震災対策の視点も欠かせない。宮城県では三つの大

きな流域下水道の終末処理場が津波の被害を受け、完全復旧できていない。このため、海沿いの巨大な終末処理場よりも、川沿いに小規模な処理場数か所を作ればリスクを分散できる、と議論になった。「処理場を分散させると人件費や運営費がかさむ」(国交省)という面もある。しかし、下水道が整備された地域でも、終末処理場の規模や位置などについては、適宜、再検討を行うべきだろう。



によ い りん じ

如意輪寺(かえる寺)

福岡県小郡市にある如意輪寺は、孝謙天皇^{こうけん}の勅願^{ちよくがん}を受けて729年により行基^{ぎょうき}が建立したと伝えられています。

如意輪観音は、座っている姿が一般的のようですが、この寺にある如意輪観音は、日本で唯一の立像です。

なお、この如意輪観音立像は、昭和52年4月に福岡県の重要文化財に指定されており、普段は秘仏となっていますが、12年に1度御開帳されます。

次の御開帳は、平成25年4月14日から4月25日となっています。

また、近年は「かえる寺」として知られるようになり、境内には5000匹を超える「かえる」の石像が所狭しと置かれています。



本 堂



かえる七福神



お願いかえる



編 集 後 記

10月末に第三子が生まれ、出生手続きのため役所に行きました。

手続きに行った時間が、ちょうど昼休みの時間でしたが、窓口の職員の方は気持ちよく対応してくれました。

自分の行動をふりかえってみると、日々きちんとできているか疑問に思うこともあり、襟を正さなければいけないという気持ちになりました。

2013
新年号
No.126

かいほう

発行年月日：平成25年1月1日

発行所：一般財団法人 福岡県浄化槽協会

〒811-2412

福岡県糟屋郡篠栗町大字乙犬966-2

TEL.(092)947-1800

FAX.(092)947-3636

発行人：三浦 正吏

ホームページ：http://www.fjkyo.or.jp/